

第9回蒲郡市総合計画審議会 会議録

開催日時	令和3年3月19日（金）午後3時～午後4時30分まで																																																																							
開催場所	蒲郡市役所3階 303会議室、オンライン																																																																							
出席者	<p>【蒲郡市総合計画審議会 委員】</p> <table border="0"> <tr> <td>蒲郡市教育委員会</td> <td>教育委員</td> <td>渡辺 充江</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市総代連合会</td> <td>副会長</td> <td>石川 良一</td> </tr> <tr> <td>蒲郡商工会議所</td> <td>会頭</td> <td>小池 高弘</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市漁業振興協議会</td> <td>会長</td> <td>小林 俊雄</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市農業協同組合</td> <td>理事</td> <td>大村 純代</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市小中学校PTA連絡協議会</td> <td>会長</td> <td>三浦 吉尊</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市保育園父母の会連絡協議会</td> <td></td> <td>伊藤 恵梨子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市社会福祉協議会</td> <td>会長</td> <td>鵜飼 秀好</td> </tr> <tr> <td>がまごおり市民まちづくりセンター</td> <td>代表</td> <td>金子 哲三</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市国際交流協会多文化共生部会</td> <td></td> <td>三浦 嘉子</td> </tr> <tr> <td>ボランティア連絡協議会</td> <td>副会長</td> <td>石川 たづ子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市文化協会</td> <td>副会長</td> <td>佐野 哲子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市スポーツ協会</td> <td>副会長</td> <td>吉見 千津子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市子ども会連絡協議会</td> <td>顧問</td> <td>小林 浩子</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市</td> <td>副市長</td> <td>井澤 勝明</td> </tr> <tr> <td>名古屋大学</td> <td>教授</td> <td>高野 雅夫</td> </tr> <tr> <td>愛知工科大学</td> <td>准教授</td> <td>小林 直美</td> </tr> <tr> <td>愛知大学</td> <td>教授</td> <td>鄭 智允</td> </tr> </table> <p>(欠席)</p> <table border="0"> <tr> <td>蒲郡市観光協会</td> <td>常務理事</td> <td>長谷川 恵一</td> </tr> <tr> <td>蒲郡市農業委員会</td> <td>会長</td> <td>坂部 哲雄</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>企画部</td> <td>部長</td> <td>飯島 伸幸</td> </tr> <tr> <td>企画政策課</td> <td>主事</td> <td>杉浦 太律</td> </tr> <tr> <td>企画政策課</td> <td>主事</td> <td>青木 佑紀</td> </tr> </table>			蒲郡市教育委員会	教育委員	渡辺 充江	蒲郡市総代連合会	副会長	石川 良一	蒲郡商工会議所	会頭	小池 高弘	蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林 俊雄	蒲郡市農業協同組合	理事	大村 純代	蒲郡市小中学校PTA連絡協議会	会長	三浦 吉尊	蒲郡市保育園父母の会連絡協議会		伊藤 恵梨子	蒲郡市社会福祉協議会	会長	鵜飼 秀好	がまごおり市民まちづくりセンター	代表	金子 哲三	蒲郡市国際交流協会多文化共生部会		三浦 嘉子	ボランティア連絡協議会	副会長	石川 たづ子	蒲郡市文化協会	副会長	佐野 哲子	蒲郡市スポーツ協会	副会長	吉見 千津子	蒲郡市子ども会連絡協議会	顧問	小林 浩子	蒲郡市	副市長	井澤 勝明	名古屋大学	教授	高野 雅夫	愛知工科大学	准教授	小林 直美	愛知大学	教授	鄭 智允	蒲郡市観光協会	常務理事	長谷川 恵一	蒲郡市農業委員会	会長	坂部 哲雄	企画部	部長	飯島 伸幸	企画政策課	主事	杉浦 太律	企画政策課	主事	青木 佑紀
蒲郡市教育委員会	教育委員	渡辺 充江																																																																						
蒲郡市総代連合会	副会長	石川 良一																																																																						
蒲郡商工会議所	会頭	小池 高弘																																																																						
蒲郡市漁業振興協議会	会長	小林 俊雄																																																																						
蒲郡市農業協同組合	理事	大村 純代																																																																						
蒲郡市小中学校PTA連絡協議会	会長	三浦 吉尊																																																																						
蒲郡市保育園父母の会連絡協議会		伊藤 恵梨子																																																																						
蒲郡市社会福祉協議会	会長	鵜飼 秀好																																																																						
がまごおり市民まちづくりセンター	代表	金子 哲三																																																																						
蒲郡市国際交流協会多文化共生部会		三浦 嘉子																																																																						
ボランティア連絡協議会	副会長	石川 たづ子																																																																						
蒲郡市文化協会	副会長	佐野 哲子																																																																						
蒲郡市スポーツ協会	副会長	吉見 千津子																																																																						
蒲郡市子ども会連絡協議会	顧問	小林 浩子																																																																						
蒲郡市	副市長	井澤 勝明																																																																						
名古屋大学	教授	高野 雅夫																																																																						
愛知工科大学	准教授	小林 直美																																																																						
愛知大学	教授	鄭 智允																																																																						
蒲郡市観光協会	常務理事	長谷川 恵一																																																																						
蒲郡市農業委員会	会長	坂部 哲雄																																																																						
企画部	部長	飯島 伸幸																																																																						
企画政策課	主事	杉浦 太律																																																																						
企画政策課	主事	青木 佑紀																																																																						
議 題	(1) 総合計画案について (2) その他																																																																							
会議資料	<table border="1"> <tr> <td>資料1</td> <td>前回からの変更事項</td> </tr> <tr> <td>資料2</td> <td>全体構成案</td> </tr> <tr> <td>資料3</td> <td>総合計画案</td> </tr> </table>			資料1	前回からの変更事項	資料2	全体構成案	資料3	総合計画案																																																															
資料1	前回からの変更事項																																																																							
資料2	全体構成案																																																																							
資料3	総合計画案																																																																							
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ いよいよ大詰めになり、沢山のご意見が反映されて良いものになってきた。今後10年の市のあり方を決める計画であり、煮詰まってきました</p>																																																																							

た。パブリックコメントの前の最後の会議である。

議事

1 総合計画案について

(会長)

前回から大きく変わったところがあり、それを中心に説明をお願いしたい。

(事務局説明) 資料1、資料3)

(会長)

これで完成版になっていくが、細かい点など集積すべき点はどこからでもご指摘いただきたい。地域コミュニティと市民協働についていかがか。

・細かいことは、総合計画に示すのではなく個別の計画などで対応するというのであったので原案で問題ない。

(会長)

事務局と私が打合せて付け加えたことが P.91 の2コミュニティ活動の充実で、住民自治組織の持続可能なあり方を検討と入れていただいた。総代の負担が大きいという委員の意見もあり、市から人を出してくれという要請に困っており、すると次の総代のなり手がなくなるということであった。住民組織のあり方を少し検討すべきである。

これは、全国的な課題であり、従来の住民自治組織は高齢化、人口減少により苦しくなっている。各地で住民自治組織の改革が進んでいるので、蒲郡市なりの何らかの変革を検討していくことが、この先10年を見据えた時に必要であり、何らかの変革は必要である。

P.93 で市民活動団体と事業者との連携強化で付け加えたが、昨年12月に開催されたまちづくりフォーラムも念頭も置いて、市長と直接情報交換できる場であった。今後いろいろな課題について情報共有して、課題を行政、住民、市民団体、企業と共有する場をつくるのが非常に大事と考えて追加いただいた。

個別の計画でいろいろな問題が出てくるが、重要なものはフォーラムに投げかけていただいて、課題を共有した上で知恵を出し合うことができると思う。

あとの点については、いかがか。

・P.46、P.47の学校教育で目指す将来の姿で指標の3つが示されているが順番を変えた方がよい。学校教育なので子どもに関することを先に示し、3番目に喫緊の課題ではあるがコミュニティスクールとするのがよい。現状と課題に対して、主な取組・施策が書かれていると思うが、P.46右の一番上に子ども達が基礎的・基本的な知識など確かな学力を身に付けという文言があるが、施策に書かれていない。施策としてまず1番に掲げることがよい。子ども達が将来自立した社会人として、適切に判断・行動する力を持てるよう確かな学力を身に付ける。

	<p>また、命の大切さなど道徳・人権教育として、まずは確かな学力を身に付けることを示すと良い。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校教育は良き市民を作るという意味で確かな学力の問題と、もう一つ集団生活でやって良いこと、悪いことを学んでいく場である。一つは確かな学力であり、もう一つは集団生活という人間形成の場ということで、学校生活の中でやっていく。学校自体をあまり小規模にしていくと集団生活の学びがなくなる。子どもの人口が減る時代に、学校教育でどうするのが一番問題になる。もう一つはデジタル化が進んで、教科書も 2024 年までにデジタル化ということであるが、その時に黒板を書く時間がなくなった時に、どのような教育を行うのかスキルの問題が大きくなる。そういったことを書いていただくと良い。義務教育の間は、学校にあまり差があってはいけない。コミュニティスクールは地域の人が学校教育を変えて良いのかということではなく、子どもはどここの学校に行っても同じ教育を受けることができるべきである。コミュニティスクールとして地域が支えることはどんなことかを分けて明確にすべきである。学校教育の根本的なところを押えていくとよい。 • 総合計画の推進、進行管理について最後に示されているが、実際には総合計画には手段、取組み、誰がどのセクションが取り組んで管理するのか出ていない。この後の計画で出てくることで良いか。 (会長) P. 106 について、ご意見をいただきたい。具体的に変更することの提案をいただけるとよい。 • 質問となるが、総合計画の下に新たに計画があるのか。 (事務局) 総合計画に基づき、関連する計画等ということで、個別計画によって進捗管理をしつつ、総合計画でも指標に基づき進行管理をしていく。 • どのセクションが管理するのか示すのか。総合的な進行管理は企画政策課、市議会が行うのか。 (事務局) 今の施策についても担当課は把握しており、個別の計画は各課で進行管理することになる。総合計画については、企画政策課が進捗管理を行う。 • P. 106 が追加されて計画の推進と進行管理については多少分かったが、それを P. 3 により分かりやすくして、総合的な進捗管理を企画政策課がやっていくと市民に対してもう少し分かりやすく書いていただくとよい。SDGs の推進、進行管理について曖昧であり、計画の推進については施策の指標を企画政策課が進行管理することで良い。ただ、この指標が SDGs の指標としてふさわしいのか再度検討すべき部分がある。たくさんターゲットが国連は設けており、独自の解釈をする場合にはここはこうだからこうやるという説明がないと、市民まで理解が行き届かない。きちんと定義して、誰がどう進捗管理するかももう少し示すべきである。 (会長)
--	---

総合計画は各課が進捗管理することと、企画政策課が進捗管理すると追加いただくことでよいか。SDGsの目標について、今はどう考えているのか。

(事務局)

総合計画に記載している指標で全てSDGsを網羅していると言い切れないが、SDGsと関連して整理しているため、各指標が紐づいておりこれで進行管理していきたいと考えている。

(会長)

具体的にSDGsについてどのように記載すればよいか。

- ・目標5ジェンダーがあるが、全ての女性のエンパワーメントとなるが、たとえば教育には触れられていない。国連ではかなり細かく定義している。デジタル化では運用や知識の差などが出てくるので、その格差をなくし、誰もが活躍できるようにとうたっている。それをそのままやると乖離するので、国連ではこのように謳っているが、これを蒲郡市らしく、もう少し丁寧に説明すると国連はこうだが蒲郡市はこうだと分かりやすくなる。指標を変えるか分からないが、変えないのであれば丁寧な説明がいる。

(会長)

P.106のSDGsとのかかわりを丁寧に説明することでよいか。

- ・P.90の地域コミュニティ、市民協働のページには、地域活動へ若者や女性などが活躍するという言葉が4回出てきている。女、子どもと言われている気がする。女性は地域での活動は少ないが地域活動をできないわけではなく考えている人もいるので、できれば若者や女性などあらゆる人がという言葉があり、そのように直してほしい。

地域コミュニティ活動の目標値が現状値から減った目標となっているが、普通なら増えるがどういう理由か。

(会長)

子どもや女性などに特化したような書き方は修正できる。

2番目の質問の回答は。

(事務局)

今後人口が減ってきていくと予想されているため、地域ふれあい活動は人口が減っていく中で維持していくことを目標値としている。

- ・これから10年間のボランティア、地域コミュニティ活動については若い人、主婦に加わっていただくためには、短時間でもかかわってもらえることを考えていくべきである。時間がある人のみでは、これからの活動はうまくできない。若い人が短時間でもかかわり、時間がある人が支えていく。まだまだ参加する人を増やすことができるので、ふれあい活動の延べ人数を減らす必要はない。時間がない人でもかかわれることをこれからのやり方として、SNSを使うことなど、真剣に考えるべきである。
- ・現在活動に参加していない方に参加してもらうためには、コーディネーターの役割が重要になり、関わってもらうことは方向性としてはおかしくないが、それを誰がどうしていくのかについてセットで考えないと負担が集中する。

- いろいろな部分で人集めはつらい。まずはこういうことをとみんなに知らせて、意識していただくことが大事。色々なところで公表して、とにかく多くの人に関わってもらい、一人でいくつも持たないことが必要である。それをどうまとめるのかは課題であるが、一人がたくさんのことを抱えるよりも専門の人がやった方がうまくいく。
- コミュニティの問題であるが、戸建て住宅を外国人が購入して子ども達は小学校に通っているが、自治会に入っている人もいる。子ども達が祭りに出たいということもあり、将来的には子ども達が日本人として暮らしてくるので、外国の方も参加できる雰囲気をつくるべきである。戸建てを買っている外国人はごみ出しもしっかりやっている。国際交流とは異なり、地域に外国の人も入ってもらい、自治会のこともやってもらえる雰囲気をつくっていききたいので、うまく実行できればよい。
- まちセンで SDGs の研修が開催されたが、女性参加者は地域でのつながりがとても必要であり、新しい地域とのつながりが必要という声があった。地域の役員は男性がやらされるが、そういうことのみではなく自発的にボランティア、集まって何かやろうという取組みを起こしていく必要がある。

(会長)

目標値については担当課と検討いただき、人口が減るので目標値も減るといのは分かるが、外国人やいろいろな方に入っただくというご意見、そうは言っても総代さんなどの負担が増えるというご意見もあるので、そう簡単には増やせないというご意見もあったので、検討いただきたい。

- 外国人の方の参加について嬉しい意見であるが、子どもは祭りに参加したい、親は参加したくないということである。親がもっと地域の活動に参加していけば子どもも参加していくので、外国人の子どもでも活動に参加するような形に引っ張る必要がある。親の理解があれば子どもを親が引っ張ってくれる。外国人にも声をかける考え方には大賛成である。
- 福祉のことで P. 40 に現状と課題に包括的な支援体制の構築が必要と書いていただいたが、施策としてあまり示されていない。窓口の設置を進めると示されているので、それを受けて包括的な支援体制が進むとありがたい。

(事務局)

地域福祉計画を策定しており、福祉総合相談窓口といういろいろな相談を受ける窓口の設置ということが必要であり、包括的な支援体制につながると考えている。具体的には相談窓口の設置を示している。

- 相談窓口の設置はよいが、それを支援すること、行政がどこの課がということについて、もっと広く包括的に進めるように、行政も横断的な支援の努力をしていただくことについて、一文追加できないか。

(会長)

障がい者福祉のところで記述することでよいか。福祉相談窓口の設置を進め、行政としての支援体制を整えるような一文を入れることか。

	<p>(事務局) 担当課とも確認し、調整する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいのあるところで、いろいろな分野の人がその分野のみではなく関わっていく動きが全体的な流れである。民間も含めた支援体制づくりの取組み、たとえば企業、商工会議所などが入れれば、いろいろな展開ができる。ぜひ民間にも声をかけて支援体制をつくっていただけるとありがたい。 <p>(会長) 障がい者福祉のところで、行政のサポート体制のみではなく、民間、企業も含めてサポート体制をつくることについて加えることを担当課と調整いただきたい。よろしければ一旦、審議会での検討は終えたい。今日のご意見について修正は私と事務局のお任せいただけるか。</p> <p>(一堂) 了解する。</p> <p>(会長) その結果をみなさんにご報告したい。最終的にできたものを郵送なりで対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティと市民協働について議論になってきたが、一つ加えていただきたい言葉がある。いろいろな団体、市民が参加することでは、行政といろいろな事業を一緒にする時には、下請にならないように対等な立場で取り組むのが必要である。対等な立場で協働する、自主性を尊重するという文言を入れていただきたい。 <p>(会長) どこに追加するか。P. 93 四つ目に対等なパートナーシップなどの形で入れることがいかがか。</p> <ul style="list-style-type: none"> こういうことをやったら誰がどう評価するのか明確に書いていただけるのか。具体的に欠けている気がするので、それぞれ担当課からこういうように行いたいということが出ていくと思うが、それをどこかに掲載するのか。進行管理のところになるのか。ある程度書いた方が良いか。 <p>(事務局) 総合計画であり個別具体的なことは個別計画に示すが、進行管理についても分かりやすくその点を示すことを検討する。</p> <p>(会長) これでまとめということで、今回は一旦終わる。今後パブリックコメントで意見が出るので、それに対して修正することについて次回審議して確定する。</p> <p>2. その他 (事務局) パブリックコメントは4月8日(木)から5月7日(金)で予定している。それまでに今回の意見について会長とすり合わせて、パブリック</p>
--	---

	コメントにかける。次回5月の開催を予定しており、日程は改めて調整する。
--	-------------------------------------